

長居する、居間と寝室、大丈夫ですか？

東京消防庁「自宅の家具転対策」より

シニアの防災対策

今すぐできる家具転対策

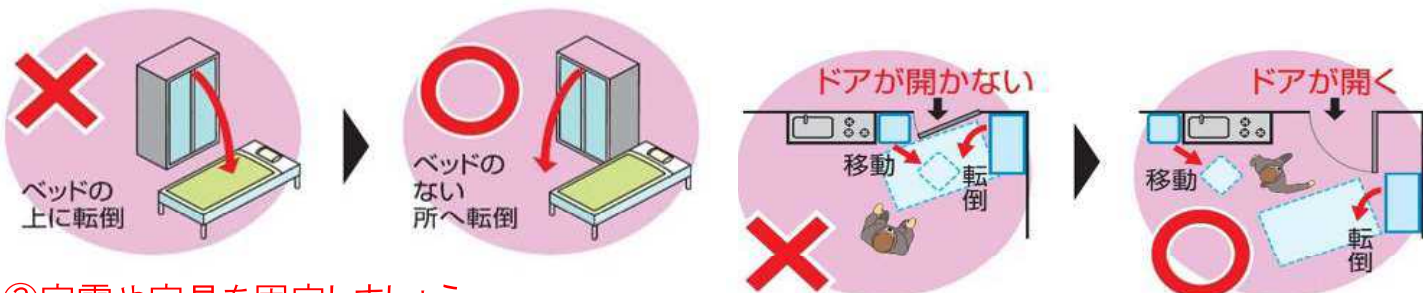
- ①生活空間にある家具を出来る限り減らす
- ②レイアウトを見直す
- ③家具や家電を固定
 - 高い場所に重い物を置かない
 - 長い時間を過ごす居間、寝室は注意

地震への備え、できていますか？長く住み慣れた家は色々な物であふれがちで、整理するのはおっくうになっていませんか。頻発する地震から身を守るための防災対策と備えを紹介します。

①生活空間にある家具を減らしましょう。

納戸やクローゼット、据え付け収納家具収納
⇒居住スペースと収納スペースを分けましょう。

②レイアウトを工夫しましょう。「寝る場所」や「座る場所」にはなるべく家具を置かないようにしましょう。置く場合は、背の低い家具にするか、家具の置き方を工夫しましょう。



③家電や家具を固定しましょう。

【家具類の転倒・落下防止対策の例】

- ベルト式冷蔵庫は壁にベルトで固定する。
- つっぱり棒(ポール)
- L型金具 壁に強度が足りない場合は、あて板をつけネジが抜けないようにする。
- 扉開放防止器具
- 粘着マットやベルトなどで電子レンジを固定するとともに、台も壁に固定する。
- 連結金具 上下に分かれている家具は連結する。
- ストッパー式 つっぱり棒を使用するとき併用する。
- ガラス飛散防止フィルム

※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

避難通路や、出入り口付近には、転倒、移動しやすい家具類を置かないようにしましょう。



一緒にお出かけ防災ポーチ

- おくすり手帳、常備薬
- 老眼鏡
- ウェットティッシュ
- 携帯用トイレ
- 水
- 携帯電話⇒ライトと笛(鈴)を付けて



もしもに備えて準備済み→ほんと安心材料

もっと防災について知りたいときは..

→女性分団までご連絡ください!



お問合せ 播磨町企画総務部 危機管理課
電話番号:079-435-0991

播磨町「女性分団」

検索

私たちの活動、けすどう新聞はこちら

